

## ラヂオきしわだ番組審議委員会第二十三回議事録

開催日時 平成27年2月20日 14時から15時20分

場所 ラヂオきしわだ事務局

ご出席委員	永谷裕久	ご欠席委員	杉本昇
	片山智信		西村静代
	近松健二		谷口真澄
	芦田有香		

局長	山田剛	出席
事務局長	北野忠夫	同席
副理事長	松谷廣志	同席
理事	片山陽子	同席

### 1.編成方針

番組審議委員長の永谷裕久氏が開会を告げ、山田局長より2月1日現在の番組表を参照して頂きながら12月5日の番組審議委員会時からの変更になったところを以下の通り説明した。

①今年初めより、朝の番組「おはきし」をウィークデイは従来通り9時からはニュースを中心に、10時台は広報を中心に構成しているが、土曜日・日曜日は担当するパーソナリティの自由裁量とし、パーソナリティの個性を生かした内容になっている。具体的には土曜日は10時から「どきどき 土曜日」11時台に「ここから keep in touch」、日曜日は「Happy morning Kishiwada」で、これはパーソナリティからのもっと個性を出したいという要望からでもあり、またニュース原稿を新聞から作成するディレクターがいないということにもよることを説明した。

②深夜帯の今まで音楽を流していた時間に、深夜向けの番組が増えたことを説明する。それは深夜向けに番組をしたいという出演者の要望によるもので、昼間に収録して、深夜に放送している。深夜枠に増えた番組として、月曜日の深夜零時からの「Meguのじゃじゃじゃ Jazz」「光静・達人の仏ぶつ行こか」を紹介する。また深夜に再放送を増やしていることも説明する。

### 2.インターネット放送のためのサーバーの切り替えについて

昨年末からインターネット放送のためのサーバーをテレビ岸和田のサーバーに実験的に切り替えていたのを、先日正式にテレビ岸和田と契約し今後テレビ岸和田のサーバーを使用していくことを報告した。これは従来のサーバーではPCやスマートフォンで聞く場合によく切れるという欠点を是正するため、これによって同時に少なくとも500人はアクセスできる、いい状態で聞いてもらえる環境となったことを報告した。結構岸和田市外の聴取者も多く、また今後ますますスマートフォンで聞く聴取者も増えることを考えたものであるが、同時にインターネットを通じて聞いている人はアクセス数などが検証でき、聴取率に替わる営業のツールとして使えるのではないかと考えていることを説明する。

### 3.ご審議頂く番組

ひとつは火曜日の午後 1 時からの「笑うあいには福福きたる」と月曜日の午後 10 時半からの「伊藤忠の俺あかんねん」をきいて頂きご審議を頂いた。

局長より「笑うあいには福福きたる」は占い師というか「スピリチュアルカウンセラー」のあいさんが芸人コンビのプランプーズの福井さんと福谷さんの二人とで作る番組であること紹介し、占いは部分的に入れるようにという指示をし、そのような構成にしている事を説明する。永谷委員長より女性は占い好きであり、或る程度ターゲットを主婦に特化してもいいのではないかと、生活の指針のようなものと言って貰えるなら番組の売りになるというご意見を頂いた。占いのコーナーは同じ火曜日の「おしゃべりカフェ」にも登場するが、視点が重ならないようにしていることも付け加えた。更に番組の中で岸和田近辺の食べ物、お店の紹介を入れているのだが、やはり山手の紹介が少ないのが現状であることを伝え、あいさんだけでなく、金曜日の「ハッピー&ミュージック」の酒瀬川さんなどのパーソナリティも岸和田を意識してくれていることも報告した。芦田委員より「対象をはっきり決めた方が番組を組み立てやすいし、占いの番組が同じ日であってもいいのではないかとのご意見を頂いた。

「伊藤忠の俺あかんねん」については伊藤忠さんは岸和田在住の歌手で、岸和田在住芸人の本庄強さんと二人のトークで作る番組であることを紹介する。近松委員から「頭の部分でどういう番組かを掛けあいで言ってもらえると番組がよくわかるのではないかと」というご意見があり、芦田委員から「冒頭に番組のメニューを言った方がいいのではないかと」というご意見があった。永谷委員長からは「出だしの番組名を伝える、いわゆる「どなり」の部分の本庄さんがやっているが、伊藤さんの番組なら伊藤さんがやった方がいいのでは」とのご意見があった。これは関連して伊藤忠さんが時間枠を買っている番組で、制作の費用も出し、本庄さんが構成・進行を請け負う番組であることも紹介した。

#### 4.その他のご意見

片山委員からボランティアの方々には本当によくやってくれていると思うが、いつまでもボランティアというのは気の毒ではないか。いつまでもやってもらえるものか。スポンサーを集めることと、聞いてくれる人を増やすこと（番組の中味）が事業の両輪であることを理事長以下再認識して、地域に密着、ファンを作ること、市民の応援が必要が肝心で、ラヂオきしわだの有用性を説明しなければいけないなどのご意見を頂いた。

局長より最近パーソナリティが自分の番組のスポンサーを探してきてくれたり、あるいは寄付をしてくれたりで助けてくれていることも紹介した。近松委員より「岸和田の人がラヂオきしわだを応援してくれるようにならないといけない。まだまだ知らない人が多い。表にでる事、認知度を上げる必要がある。波切ホールでイベントがあればブースを設けてPRすれば。」というご意見があった。また近松委員より 3 月 15 日の「中川翔子」のコンサートのチケット 5 組 10 名様分を頂き、ラヂオきしわだでプレゼントとして使わせて頂くことになった。

最後に 4 月度は 17 日（金）午後 2 時からの開催を確認して閉会した。

以上